

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

- 1 種目 道徳
2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
新編 新しい道徳 東京書籍	<p>(1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭に「道徳の授業はこんな時間に」があり、道徳の授業でどのようなことを考えていくのかというイメージがもてるようになっている。 ・教材で学習したことを広げたり、深めたりすることができる「Plus」というコラムがある。 ・巻末に「自分の学びをふり返ろう」があり、学期単位など長いスパンで道徳の授業の学びを記録することができる。 ・各教材に「つぶやき」の欄が設定されており、生徒個人の考えを書き込むことで教材と向き合いながら学習を進めることができる工夫がされている。 ・読み物教材以外に、漫画やグラフなど様々な形の教材を使い、物事を多面的・多角的に考えられるようになっている。 <p>(2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や学級の実態、発達段階に応じて、提示方法を工夫し、生徒の学習意欲を喚起することができるように配慮されている。 ・4人の登場人物が友情を育む物語が、3学年にわたって連載する形で掲載されている。 ・読み物教材に加え、写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や、漫画を活用した教材、グラフから考える教材など、多様な教材が掲載されていて、提示方法を工夫し、生徒の学習意欲を喚起することができるよう配慮されている。 ・中学生が思わず読みたくなる人物や題材が多く取り上げられている。 ・NHK for School の映像を紙面化した教材が全学年に用意されていて、状況に応じて動画で授業を行うことができる。 <p>(3) 「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目を3学年で系統的に配置している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての内容項目について、複数の教材が一律に配当されている。 ・ 付録が各項目 1 つずつ、各学年 4 教材あり、内容を充実させている。 ・ 全ての学年の各教材終わりに「考えよう」「見つけよう」が設定されている。 ・ コラム「Plus」では、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・ 教材の最初にキーワードとなる会話を提示し、問題意識をもてるようにしている。 ・ 「いじめ」「いのち」のテーマについてユニットをつくり教材を配置することで、学んだことを生かして自主的に学習に取り組むことができる。 ・ 学んだことをさらに深めたり、広げたりできる形式になっている。 ・ 多様な内容がコンパクトな 1 ページにまとまっている。 <p>(4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つぶやき」欄があり、考えたことや思ったことをメモできるようになっている。 ・ 教材をイメージしやすいイラストや写真が、効果的に使われている。 ・ 学びを深めるための資料が多い。 ・ 教科のマークが示されたページがあり、QR コードから教材と関連する映像や、他教科の教科書の内容を見ることができる。 ・ デジタル心情円など、気持ちを可視化し、考えを整理するためのワークシートがついている教材もある。 ・ 内容が複雑な教材には、簡単にあらすじをつかめる 4 コマ漫画が準備されているなど、内容を理解するための工夫がされている。 ・ 同じ登場人物が 3 年間かけて成長する姿を描いたり、小学校で学んだ教材をつけて自分の成長を考えさせたりするなど、生徒が興味をもって読める内容になるよう工夫している。
<p>とびだそう未来へ 中学道徳</p> <p>教育出版</p>	<p>(1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の巻頭に「道徳科の学びをもっと広げよう」や「この教科書で学んでいくテーマ」があり、道徳の授業の学び方やどのようなテーマを学んでいくかという見通しをもつことができる。 ・ 「やってみよう」のページがあり、実際の活動を通して、道徳的な価値を考えていく学習課題が設定されている。自分の考えを形成し、そこから周囲との対話という流れがスムーズに行われやすくなっている。 ・ 「まなびリンク」から教材をもとにして、深く考え、話し合うために効果的なコンテンツを厳選し、生徒の理解や学び合う意欲、主体性が高められる。 <p>(2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校、さらにその先の進路のつながりを意識して、生徒の発達段階に即した教材を統計的に配置されている。 ・問題解決学習や体験的な学習を取り入れ、多様な指導方法で授業が展開できるよう工夫されている。 ・生徒の具体的な生活場面から考えることができる教材が掲載されている。 <p>(3)「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年時にはB項目、2年時にはC項目、3年時にはD項目に複数教材を重点的に配置している。 ・各教材の終わりに設定されている「学びの道しるべ」は、3つの問いで段階的に発問するような形式となっていて、生徒が自主的に学習が進められるように工夫されている。 ・全ての学年において、教材のタイトルの下に問いが設定されており、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・いじめ、人とのつながり、いのちのテーマには、ユニットが組まれている。 <p>(4)表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理するための書き込み欄がついている教材もある。 ・学習に役立つ情報が活用できるよう「まなびリンク」があり、ウェブサイト情報が活用できる。
<p>中学道徳</p> <p>光村図書出版</p>	<p>(1)道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の学習を始めよう！」から学習が始まり、何を学ぶのかという見通しを生徒自身が持つことができる。 ・「見方を変えて」が設定されているページがあり、多面的・多角的に考えられるようになっている。 ・巻末にある「まなびの記録」が授業ごとの振り返りとシーズンでのまとめとなっており、それぞれの学習で考えたことや学んだことが整理しやすくなっていて、自分自身の成長に気づかせるための工夫がある。 ・「まなびをプラス」「チャレンジ」や「やってみよう」などがあり、自ら問いを立て考えることができる。 <p>(2)心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階と50分の授業で扱うことが考慮された分量であり、中学校以上に配当の漢字にはふり仮名があり、本文の理解を助ける脚注も随所に配置されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階や特性を考慮し、それぞれの学年にふさわしい教材選定が工夫されている。 ・全ての教材の教材中、教材末には学習のてびきが設けられ、1時間の授業のイメージがしやすいようになっている。 ・教材の読み取りに偏ることなく、考え、話し合うことを学習の中心に据え、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習が可能となるよう構成されている。 ・活躍している専門家の読み物、知識に基づき語りかける読み物、等身大の生徒が登場する読み物、現在活躍する人物の葛藤や喜びをあつかった読み物、視覚的に生徒の興味・関心を換気するマンガ形式の教材、表やグラフ、写真から成る教材、ケーススタディで考える教材など様々な教材が配されていて、生徒が教材にひき込まれ、自ら考えようとする十分な配慮がなされている。 ・日常生活から問う、楽しさを感じるための仕掛けが用意されている。 <p>(3)「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年時にはC、2年時にはBとC、3年時にはAに複数教材を重点的に配当している。 ・全ての学年において、各教科に「考えよう」や「見方を変えて」が設定されていて、生徒自ら考えることができるように工夫されている。 ・全ての学年において、「まなびをふらす」が設定されており、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・「まなびの準備」が全ての学年に設定されており、教材をより深く考えさせるための工夫がなされている。 ・1年間が複数の教材をまとめたユニットで構成されている。ユニットの切れ目は、3学期制、2学期制にも対応しており、年間指導計画が立てやすいよう配慮されている。 <p>(4)表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから写真や動画などの参考資料を見ることができる。 ・巻末に「この教科書が目指した生徒の姿」や、現代的な課題等との関わり等がまとめられている。 ・漫画、写真、話し合いの流れを図式化するなど、様々な方法で考えられるよう工夫されている。 ・教材をイメージしやすいようにイラスト、写真、資料等が効果的に使われている。 ・教材をもとに自ら問を立て、それを問いかうことができるような手引きが準備されている。
	<p>(1)道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い</p>

<p>中学道徳 あすを生きる</p> <p>日本文教出版</p>	<p>視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①気づく」「②考える、議論する、深める」「③見つめる、生かす」の3ステップで、1時間の学習の流れを可視化している。 ・「考えてみよう」「自分に+1」があり、生徒がここで考えたことを協議的に対話しやすい学習内容となっている。 ・異なる内容項目から多様な教材、コラムを組み合わせ、ユニットとしてまとめられていて、一定期間により深く、多面的・多角的に考えられるようになっている。 <p>(2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階や、学校生活および他教科等の学習内容や時期との関係、内容項目間の関連を考慮し、複数の教材やコラムがユニット化されている。これにより1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるように工夫されている。 ・現代的な諸課題であるいじめの未然防止が全学年で最重要テーマとして設定されており、身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、多岐にわたる教材で生徒の学習意欲を喚起できるよう工夫されている。 <p>(3) 「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年時は、どの項目も同じ割合で複数配当をしている。3年時は、Cの項目を重点的に複数の教材配当をしている。 ・付録・補充教材が各学年で+1ずつされている（1年ではD、2年ではA、3年ではB）。 ・全ての学年において、各教材の終わりに「考えてみよう」や「自分に+1」が設定されていて、生徒が自ら考えることができるような工夫がされている。 ・全ての学年において、「学びを深めよう」が設定されており、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・多様な視点から学べるよう、複数の教材をコラムと組み合わせた「ユニット」が設定されている。 <p>(4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから写真や動画などの参考資料を見ることができる。 ・登場人物が最初に示されており、生徒が内容を捉えやすいようにしている。 ・教材をイメージしやすい、イラストや写真が効果的に使われている。
	<p>(1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い</p>

<p>新版 中学生の道徳 明日への扉</p> <p>Gakken</p>	<p>視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」、「よりよく生きる22の鍵」や「様々なテーマで学ぼう」などが設定されており、道徳の学習に向けての準備を十分に行い、道徳教育への関心を高めるきっかけづくりとなっている。 ・各教材の終わりにある「考えよう」で、生徒が道徳的価値について考えを深めることができるような発問を設定している。 ・3つの「つなぐ」(①課題とつなぐ ②人をつなぐ ③未来につなぐ)を特色とし、様々な教材から多面的・多角的に考えられる。 <p>(2)心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容項目を扱う教材は、生徒の生活実態や発達段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、学年ごとに工夫されている。 ・様々な分野で活躍する、今を生きる人に関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材など、生徒が興味・関心をもって学べるように、心を引き込む教材が多数掲載されている。 <p>(3)「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・3年時は、複数教材の配当が同じ割合であるが、2年時は、Dの項目に複数教材が重点的に配置されている。 ・全ての学年において、各教材の終わりに「考えよう」が設定されていて、生徒が自ら考えることができるように工夫されている。 ・全ての学年において、「深めよう」が設定されており、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・全ての学年において体験的な学習を促す教材として「クローズアップ」が取り上げられている。 <p>(4)表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭や巻末に自分の思いや考えを記入できるページが設定されている。 ・QRコードから写真や動画などの参考資料を見ることができる。 ・写真やイラストなど見やすい図表が多く、教材の内容をイメージしやすい。 ・メモ欄があり、思いや気づきを書き留められる。
<p>中学生の道徳</p>	<p>(1)道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p>

<p>あかつき教育 図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の時間とは」に、各学年に応じた道徳科の導入メッセージがあり、その後に道徳科でどのように学習をしていけばよいか明記されている。 ・各教材の終わりに「考える・話し合う」が設定されており、「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」が示され、問題解決的な学習を促す問いになっている。 ・「マイ・プラス」が設置され、役割演技や話し合いなどから生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできるような問いが設定されている。 <p>(2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階や各教科の学習内容、他の教育活動などとの時期的・内容的関連を考慮して配列されている。 ・判断を問うような問題解決的な教材や心情に訴えかける感動教材、これからの生徒の生き方やあり方につなげていくような生徒の身近な題材や、将来につながるような教材が掲載されている。 <p>(3) 「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数教材の配置が3年間各学年で一律で配当されている。 ・全ての学年において「マイ・プラス」が設定され、問題解決的な学習を促す内容が示されている。 ・どの教材にも、自分を見つめて考えるための問いが設定されている。 ・教材を読み、活動を通して、いろいろな視点から考えを深めるページが設定されている。 <p>(4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを多く用い、ゆとりのある紙面構成になっている。 ・QRコードから写真や動画などの参考資料を見ることができる。 ・多様な視点から学べるよう、同じテーマの複数の教材とコラムを並べている。
<p>道徳 中学校 生き方を見つめる</p> <p>日本教科書</p>	<p>(1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を深い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「道徳って何を学ぶの？」が設定されており、これから始まる道徳教育に対しての意欲向上へつながる工夫がされている。 ・巻末の振り返りは、細かな内容が設定されており、生徒がどのような学習成果を得ることができたのかを可視化できるものとなっている。 ・ウェルビーイングカードを使用することで、授業の導入や、教材と

合わせて使用することで、資質能力を身につけることができる。

(2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・中学生の発達段階を意識し、学年を追って教材の発問内容を深化させていくような配慮がされている。
- ・道徳的価値に迫るためのテーマや話題を、様々な分野や業績を残した人物が直面した葛藤などに求めており、社会的・文化的な多様性、多面性を意識した教材が多く選定されている。

(3) 「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配列されているか。

- ・3年間を通して、Cの項目に対する複数教材の配当を重視している。
- ・全ての学年において、各教材の終末に「考えよう」や「深めよう」が設定されている。
- ・全ての学年において、「クラスのみならず」「道徳授業」を創り出そう」が設定されており、問題解決的な学習を促す内容が示されている。

(4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

- ・価値項目順に掲載されている。
- ・QRコードから写真や動画などの参考資料を見ることができる。
- ・漫画が多いので、読むことが苦手な生徒も理解しやすい。